2006年10月14日

(1)

八幡鉄町教会

(1)

2

3

4

5

ろしますが親

ったりなだめ

する確信が新たにされるの

まし、キリストの福音に対 ないことが、他の人々を励 マイナスの状況にしか思え なった」。パウロを取り囲む

させるに十分なマイナスに 歩みは、パウロ自身を落胆 遇しながら歩んだパウロの とげを持ち、多くの難に遭 そらく病と思われる肉体の 自身ではなかったか、と。お のは、ほかでもないパウロ 誰よりも驚き、励まされた で、福音が前進する事実に

しか思えない事柄に満ちて

に役立った、と言うのです。

私は思います。マイナス

まいます。叱 いだりしてし The Kyodan Times

れ、落胆する者たちを励ま語りかけが繰り返しなさ

「信仰の継承」と一口に言

決まるということの中に、

があります。

ういうことをついつい考え する者になるだろうか」、そ

たりしてしまいます

、ある時、

家の中

れたような思いでした。

礼

自らの不信仰を指摘さ

されたのです。

の子たちは、

信仰の歩みを

ます。普段の

前進する福音の力に押.

し出され

もたちがおり

人の幼い子ど 我が家に三

生活において

集中できず も、なかなか

敢に、御言葉を語るように 恐れることなくますます勇 て、多くの人が「確信を得、

> の力に立ち上がらされ、引 る事実に気付かされ、福音 況の中でなお福音が前進す か。しかし、そのような状

っ張られ、押し出されて前

れがパウロという人の生涯

気落ちしている私たちに先

んじて福音は前進する。福

想像力がなければ同情もで

は、思いやりを欠くこと、 付く。▼想像力を欠くこと

きない。分かろうとすれ

へと進んで行った生涯。そ

ではなかったでしょうか。

このメッセージの題を

き回ったり騒 に、すぐに歩 が、教会学校

に捕らわれているのを見

パウロがキリストのため

もそうです

の礼拝に出て

1933年12月28日 第三種郵便物認可 隔週土曜日発行

第 4612 号

定 価 1部140円(本体133円干共200円) 1年分 〒共 紙代のみ 5,000 円 3,500 円 振行のよう。3,500 円 振替の140-9-145275 本紙を購読ご希望の方は、前金を そえて、お近くのキリスト教書店 へお申し込み下さい。 教会の購読料は負担金に含みます。

の一つとして知られていま

使徒パウロの獄中書簡

日本基督教団 169-0051 東京都新宿区西早稲田 2-3-18 日 本 キ リ ス ト 教 会 館 内 電 話 FAX03(3207)3918

> 発 行 人 編集主筆 前 昇 澤 知代志 竹 竹

福音の前進に役立ったと知 起こったことが、かえって ってほしい」。 フィリピの信徒への手紙 「兄弟たち、わたしの身に

口が捕らえられたことは、 起こったこと、伝道者パウ あったろうかと思います。 どんなに教会の人々を悲し ませ、落胆させる出来事で た手紙です。パウロの身に そのところでパウロが書い この手紙は、「喜びの手紙」 浦らわれの身となった、 「喜びなさい」という かし、パウロが書いた として積極的に賛成しまし 継承』をテーマにしてはど 話し合いをしました。 るある集会のテーマについ て開催の準備に関わってい もちろん私も重要なテーマ とがすぐに決まりました。 の継承」をテーマにするこ 他の委員も賛成して「信仰 うか」という意見が出され、 て、準備のための委員会で 誰からともなく「『信仰の

者が捕らわれの身というマ|ど微塵も感じさせないほど します。 手紙をしたためた | イナスの状況にあることな 行き詰まりの状況の中で | 手紙には満ちています。 | に、不思議な明るさがこの

が思うようにうまく行って

承」ということを巡っても、

ぶちあたっていることをよ

七條真明

教会の人々に、「喜びなさ

って落胆していたであろう われの身となったことによ

い」と語りかける手紙を書

ことができますように。

(八幡鉄町教会牧師)

が前進する福音の力を知る も用いて頂きたい。私たち れて、福音のために私たち 力に対する確信を新たにさ

私がスタッフの一人とし 一っても、そこで一つの家庭 方をすれば、「信仰の継承」 って改めて思わずにはおれ と思います。ただ、そのい るか、ということがあるか 広く次の世代の人たちへ福 なかったことがあります。 述の委員会のずっと後にな ずれを考えるとしても、前 音を宣べ伝えることを考え の継承を考えるか、もっと における親から子への信仰 それは、少しうがった見 いうテーマがすんなりと れている福音の真実に触れ て、ハッとさせられること です。 本当に小さなことの中に現 しかし、そのような中で、

| 現代の日本の(おそらくは る一つの状況が非常によく 現れているのだということ 世界の)教会が直面してい つまり、「信仰の継承」 それでも福音は前進する

詰まりを誰もが感じてい です。簡単には乗り越えが に進むことができない行き たい壁にぶちあたって、前 認識を私たちの誰もが共有 はいない、むしろ非常に厳 表しているように思ったの しい状況がある、そういう している、そのことをよく

考えてみれば、「信仰の継

不振が繰り返し言われるこ とも、私たちが容易に前に 教会学校や若者への伝道の 繁に聞かれるようになり、 りません。教会においても 「高齢化」という言葉が頻

その材料に事欠くことはあ な事柄の中に、マイナスの 私たちを取り囲むさまざま 状況を見出そうとすれば、 世界を見るとき、どんなに 開けない思いがあります。 将来への展望も簡単には

れの身になったそのところ

パウロが獄中で、捕らわ

ったと知ってほしい」。 かえって福音の前進に役立 しの身に起こったことが、 ります。「兄弟たち、わた き送りました。 パウロは語

のきたないと

▼「ぼくたち

| は行きません。「果たしてこ | で遊んでいた子どもが、礼 拝の中で歌われた讃美歌を 一人で口ずさんでいるのに るものがあることに気付か ろで確かに前へと進んでい うか。 ない。そのような思いを誰 もが抱くのではないでしょ うな出来事が毎日のように 現れてはいない、そのとこ 自分に気付かされる思いが 拝において臨んでいてくだ イナスの状況しか見いだせ 起こることでしょうか。マ 私たちの心を暗くさせるよ さる神の御力をなめていた しました。まだ目に見えて た。自分を取り囲んでいる 動かしがたい壁も、キリス 状況よりも、もっと確かに で見ていたものは、捕らわ る力を押しとどめることは いるということでありまし 福音が前進する力を持って れの身になっている自分の トの福音が前へ進もうとす

パウロは獄中にあって、 知ってほしい、とパウロは 状況を貫いて福音の前進が なされたのだ、そのことを 状況さえも、かえってその 出来ない。 いたに違いないマイナスの 教会の人々を落胆させて

> 幸せになれるんだよ」▼長 めなときでも、それなりに

ろうとすることだよ。わか

が動物とちがうのは、分か

いように一中略一ぼくたち

ろうとすれば、どんなみじ

季節が羊にとって意味がな 味なものになってしまう、 男と同じになってしまうだ

…そうしたら」-中略-をにくむなら…そうしたら

えないあの男 ないのかを考 て、なぜきた こだけを見

「そうしたら、ぼくがあの

きぬいてきたことは、無意 ろう。ぼくたちが今まで生

況の中で、私たちがやっと うことが許されると思った ない。マイナスにしか思え ろで前進を始めるものでは のです。キリストの福音は、 ない状況を貫いて、そこで ることができたと思うとこ 福音を少し前に動かし始め マイナスにしか思えない状 ている。『マサダの砦』 で、箴言めいた警句に充ち めに、イタリア半島を縦断 い引用は、E.C. ホガー リスト教的な作家か想像が 少年が生き抜き、食べるた 上げるだけで、どんなにキ する話だ。この作家の特徴 ドの『小さな魚』(富山 房)。戦争で孤児となった 『議会への使者』作品名を 『クロムウェルへの使者』

ノィリピの信徒への手紙1章12

3

2

4

5

14

6

7

8

9

書きました。パウロが捕ら フィリピの信徒への手紙を

(10)

しょうか。キリストの福音の

6

にしか思えない状況の中

とがあったのではなかった 込まざるを得ないようなこ いました。実際、何度も落ち

としました。そのように言

「前進する福音のために」

むことこそ、私たちに求め

その確信を新たにされて歩 れない前進する力を持つ。 音は何事にも押しとどめら

られているのではないでし

しとができる。勿論教団も。

の中でも、希望を見出すこ ば、どんなにみじめな現実

しようとして、思い直して

「福音の前進のために」と

8

教 新 報 寸 第 4612 号 2006年10月14日 (2)(第三種郵便物認可)

第10回「新潟県中越地震

2

関東教区報告

村田元中越地震被災教会

る。年内着工は困難。

ため大幅に着工が遅れてい

③支援ニュースの作成。

教

~二六日) でパネル展示。

団総会前に発送できないか

可能ならば関東教区が実

度目の冬が近づいて

「新潟県中越地震」被災教会会堂等再建支援委員会

会決定)

教会会堂等再建募金のお願 計 九月二六日教区事務所 いを全教会あてに送付し ③「新潟県中越地震」被災 ◎関東教区被災支援関連会

当委員会から小橋孝一委員

いて予定されているので、

長を派遣することにした。

② | 〇・二三を覚える日と

して他教区でも開催できな

扱われているかを確かめる

〇万円を送金する。

②憲法問題の取り組み継

経緯を聞き、懇談した。

(今期の「憲法改悪に

必要性を感じていたからで

2

自主活動団体として承

位置づけられ、

法的に取り

団において現在どのように

社会活動基本方針」が教

する学びを重ねているが、 より社会活動基本方針に関

2

(3)

(4)

(5)

6

3

(4)

牧師館は工事費調整の

いか打診する。

1 が実施された。(七月常議員 ②被災支援関連の会計監査 降の増加額は一一、七四一、 員会が九月五日に教団会議 ◎教団事務局 八九四円。一八三件。 円。このうち、六月六日以 室において開かれた。 在) | | 0,0 | 四,四二七 被災教会会堂等再建支援委 献金累計額(九月四日現 事務局報告 八月二九日 低迷していた礼拝出席も八 ②栃尾教会=六、七月には べて終わっている。 ①長岡教会―関係工事はす ・被災地支援センター統括 ついて報告を受けた。 主任から被災教会の現況に

ける会堂・牧師館の位置図

が確定、平面図の概要を決

⑤見附教会=新購入地にお

新会堂着工は来年。

災会堂・牧師館の取り壊し、移転で結実した。 今秋、被

建設予定地の決定が難航

し、思いがけなく適地購入

④小出教会=会堂牧師館の

協議した。

④教団総会(一〇月二四日

(樋田利明報)

理、井戸掘り工事等、業者 園は着工、降雪前に完了予 工事を完了。山本愛泉保育 教会堂・保育園園舎の改修 い 工。降雪前には完了させた た。 月にはもとに回復してき のやり繰りがつかず未着 わったが、融水パイプの修 ③十日町教会=八月初旬に 会堂部分の修復工事は終

東教区集会が一〇月二二日

(日) 小出教会保育園にお

① | 〇・二三記念集会

関

開催回数 10 回を数えた支援委員会

3、支援計画

定。着工は来春となる。

甲府の愛宕町教会を会場に、今期最後の伝道委員会 告された。

に変更されたことが各々報 協議事項として、①二〇

| 教会援助活動 – 教会協力委

諸報告を承認した。 みについて、O六年四月二 たこと、エクロフ委員会は 明を受け、質疑応答があっ き、その後五年以内の返済 万円の範囲内。利率は年利 〇日より、年間融資額一千 特にエクロフ基金融資申込 第五回常議員会で継続議案 三月をもって廃刊する件、 竹前昇総幹事に陪席を願 く人」編集委員会はことに、 になったことについての説 %。返済は二年間据え置 第五回常議員会報告、「働 「働く人」二〇〇七年 の歴史と現状と課題」につ いて、同分区巨摩教会牧師・

課題が残る無任所教師の

組

教 師委員会

(白砂誠一報)

教区、分区資料に基づき説 日に制定され、その変遷が、 明された。②(山梨分区) 互助が一九七八年四月二三 ①山梨分区教職退職慰労

九月四日~五日にかけ | 委員会が、愛宕町教会で開 | 会議事録承認の後、以下の | 〇九年にプロテスタント宣 り、記念集会等を立案して 員会報告を確認した。 日本基督教団総会の伝道委 れ協議した。また、第3回 動者協議会についてそれぞ 35総会期「農」に関する活 もよいのではないか、②第 教一五〇年を迎えるにあた この後、「山梨分区の互助

徳田隆二氏から発題を頂い 九回教師委員会が九月七日 第3総会期最後となる第

れた。 項を中心にして協議が行わ 教師委員会への申し送り事 教団小会議室で開催され 今回の委員会では、次期

州教区常置委員会からの提

つの課題に取り組んだこと

一件」については、ガイドラ

イン二次案を常議員会に提

課題への取り組みは残って

試験におけるABコースの

を受け止めた。それは、「九

の活動を振り返り、

次の三

対策の取り組みに関する

まず、今委員会の二年間

| ュアル・ハラスメント防止

行したこと、教師委員会内 訴の件」を受けて戒規を執

規を作成したこと、「セクシ

ガ区の互助の歴史と現状を学ぶ 伝 道 委員会 びかけ小さな教会の伝道協 力委員会について 一九七 得て整えてきた。③教会協 の開拓伝道B方式の認可を を分区が親教会として教団 す家庭集会を支援する体制 七三年から始まり内容は多 分区内の諸教会に献金を呼 六年以降は、財務委員会が 方面に及ぶ。開拓伝道を志

第34総会期第六回伝道

催された。

第五回伝道委員

(1)

2

(3)

(4)

5

分区の教会援助活動は一九 員会前史ーについて 山梨 員会を設置した。その三年 内に新たな事態が発生し 辞退した。分区が新たなる 後、淀橋教会は伝道協力を 手として分区に教会協力委 会と協力して支援する担い 大月伝道を、分区は淀橋教 会から新しい牧師が赴任、 た。山梨都留教会に淀橋教 の牧師の隠退に伴い、分区 八六年三月に山梨都留教会 力を推進してきたが、

祈った。 の支援を続けた。 けた。支援の必要性を覚え 歴史と今後の宣教の課題に 新生教会。会堂を見学し、 代教会、日下部教会、 石和教会。二日目は山梨八 した。一日目は愛宕町教会、 牧師を招聘して、 ついて各牧師から説明を受 五つの教会を今回は訪問

大月

(6)

分区単独

8

9

西東京教区における無任所

教師の現状について三人の

委員から報告を聞くことが

きながら今回の委員会で

(10)

中部教区と大阪教区と

重い課題に取り組んできた教師委員会

できた。 ることが報告されたし、 しかし、教区が教師名簿

無任所教師の問題について また、女性教職の問題や し送り事項の一つとして取 についても次期委員会の申 を痛感させられた。この点 り上げた。 も無任所教師の現状を把握 り、実数の把握が困難であ の名簿に記載されていない することが急務であること であることが指摘された。 さえ把握できないのが現状 東京教区の場合には、人数 無任所教師も存在してお 教区ですら、名簿上、無任 を作成している中部、大阪 所教師数は把握できるもの このような一例を通して (宮本義弘報) 西

いての常議員会での取り扱 ては、教憲第九条変更につ 出したことの三つである。 いは終了したが、教師検定 しかし、教師問題に関し 課題である。 できなかったことは今後の 議を発展させていくことが ている。この点について協 いると委員会では受け止め とができなかったが、遅ま まではこれらの課題につい 求められていながら、これ も教師委員会に取り扱いが てはほとんど時間を取るこ

「社会活動 基本方針」 の法的位置付け を確認 社 会 委員会

の発題を聞いた。前総会期 針を廃止する件」の取り扱 の後に、愛澤豊重教団総務 会議室にて開催した。山本 員会提案「社会活動基本方 幹事より、第2総会の常議 光一委員の奨励による礼拝 いとその最終結論について (月) 十二日 (火) に教団 第4総会期最後となる第 ある。そして、委員会は次 ということである。 はそのまま存続している、 としたこと、故に教団にお て第2総会期第五常議員会 きた。総会から差し戻され の事柄を確認することがで いて「社会活動基本方針」 は三役提案を議決承認、す なわち「議案としては廃案」 おもな協議決定事項は次 認されたキリスト教保育所 施された事項の承認と、例 4 対して、死刑確定者の死刑 3、総理大臣と法務大臣に る。 きを経て、融資金を移譲す 同盟へ、事務的確認と手続 の「抗議声明」など既に実 にて要請する。 を執行しないように、文書 首相の靖国神社参拝へ

格付けを明確にする必要が

回会議を反省し、会議の性

いての協議継続。ことに前 ④全国社会委員長会議につ 応

③教育基本法問題への対

で終了します。)

ある。

⑤社会福祉事業団体との協

力および連絡

東中国、九州の六教区から 関東、神奈川、大阪、兵庫、 推薦のあった六施設に各二 のごとくである。 社会福祉施設援助金を 関する学びの継続。 ①「社会問題基本方針」に 年のクリスマス献金などの 5 次総会期への申送。 るが、関係委員会として竹 れるように希望する。 が常議員会に提案されてい 前昇総幹事からその理由と

柄がなんらかの形で継続さ

なお、「働く人」の廃刊

た場合、その担ってきた事

⑥「働く人」が廃刊となっ

8

(10)

10

8

9

2006年10月14日

た。 そこで、

改めて思想や信教の

コンピューター用 そうです。元来は、

た状態をそう呼ぶ 感じられなくなっ

> り方が問われるものです。「教師問 れ重く、福音理解の質や自己の在

題」「セクシュアル・マイノリティ 題」「『合同』のとらえなおしの課

語ですが、近年は 精神医学の世界で

な生き方が問われてきます。しか

そこで生じる葛藤を大事にし

「地域格差の問題」なども根本的 差別問題」「被災者支援の問題」 部平和聖日集会において『教会か

この八月開催された、教区社会

当時者の内面で葛藤や軋轢が 実際に受けているにも関わら

兵庫教区

問われつつ

進行し、それによって大きな被害

られました。 周りで重大な事態が

的圧力が働く中で繰り返しある出

来事を強要されると人の思考は麻

を受ける可能性が高いか、あるい

痺し停止状態になるそうです

教区が抱える宣教課題はそれぞ

菅根信彦

いつつ、

扶桑社の歴史教科書採択反対運動 を通しての講師の証しを伺いまし

ら考える教育基本法』を主題に、

(3)

ってしまっていることを想起させ

このような感性を抑圧して、

同調

(兵庫教区総会議長)

もなくなってしまった状況です。

 \bigcirc

2

3

4

5

6

ンフリクト・フリー」の状況に陥 同時に今を生きる私たちが「コ れた現状を教えられました。 ている教育現場の危うい統制化さ 目由を含めてその権利が脅かされ

も広く使われています。思考の面

で言えば、論理の矛盾に対して一 定程度のセンシビリティー=感性

組んでいかなければと、集会を通 ながら対話しつつ宣教課題に取り

して深く考えさせられました。

第 4612 号 第3総会期第六回の世界

ドイツ・台湾から宣教師帰国活動報告

(2)

3

(4)

(5)

3

宣教協力委員会が去る九月

小栗献宣教師と台北の国際

いて行われた。 八日(金)教団会議室にお

(第三種郵便物認可)

ボン日本語キリスト教会の 終えて帰国されたケルン・ 今回の委員会には任期を

ら現地の様子や集会の状況 し、活動報告を伺った。 共に昼食を頂きながら懇談 小栗氏は映像を示しなが

雅江両宣教師をお招きし、 日語教会の柳田剛行、柳田 まれた教会学校について語 田雅江氏はご自身が取り組 つつ、現在の社会状況及び 大戦後の台湾の歴史に触れ 教会の現状を報告され、柳 を感謝された。 られた七年間であったこと たちとの交わりの中で支え られ、子どもたちやその親

ささげた。 苦労に感謝し、それぞれの ために二名の委員が祈祷を 委員一同三人の方々のご しかし、悲しい知らせも

喜ばしい便りも、悲しい知らせも

でしばし黙想をささげた。 れたとの報告である。一同 会をご病気のため辞任し、 あった。サンパウロ福音教 側索硬化症により亡くなら 去る八月二四日に筋萎縮性 沼國光氏が療養の甲斐なく 帰国療養中であられた小井

教

寸

新

報

第六回世界宣教協力委員会 等を分かり易く話された。 柳田剛行氏は第二次世界 を承認した。

てケルン・ボン日本語キリ 認した。心当たりのある方 の後任者を求めることも承 稚園の高久華子信徒宣教師 期満了となる高雄めぐみ幼 件。 来年三月末をもって任

後任者の公募がもう一

小栗氏の後任とし

(6)

(6)

8

状、思いなどを日本に知ら

橋本、下田、波田、大台め

せてゆきたい。しかし、ま

9

(10)

員会としては後任者の公募 せもあった。一日も早い回 復を祈らざるを得ない。委 志宣教師がご病気のため辞 任されるという残念な知ら

るいは移住労働や移民そし

る複数の二国間協議につい

て案件の検討を行い、詳細

第三回スイス協約委員会

Migrating People」ぜ、

総合主題である「God's

た状況を考慮することなし る。教会の宣教も、そうし

項として、三国間教会協議

会に関する報告、SEKと

歳。中国の北京に生まれる。

辞(担)村主政彦 就(主)武 公子

八月十七日、逝去。八〇

一九五〇年同志社大学神学

パイン合同メソジスト教会 京都丸太町辞(担)藤浪敦子 にはなされえない。実際ス

は念頭に置いたものであ び政治的な諸問題を、まず などから生じる社会的およ て難民、さらには人身売買

することになった。さらに

は当地の実行委員会と調節

猪苗代

児島

辞(主)武 公子 就(代)高橋真人 就(主)近藤国親

辞(代)渡辺利彦

宮内

辞(代)立花則彰

就(代)高橋 爾 (代)長倉喜代子

″

次期委員会への申し送り事

代に特徴的な広義の「人の グローバリゼーションの時

イスには、韓国語あるいは

の協約関係の内容的な再検

討その他の幾つかの事項を

移動」、すなわち留学や外国

あ

た人々との交流も予定され

年に日語礼拝が創設され、

九八五年に日語教会が開

会が存在しており、こうし 日本語を礼拝に用いる諸教

決定した。

(廣石望報)

師として奉職した。遺族は

"

辞(外)西村 篤

就(外)藤浪敦子

まで同大学神学部に神学教 部卒業。五五年から九七年

妻の百合子さん。

同志社大学神学部

就(神)西村

辞(担)大野高志

ケルン・ボン日本語教会

就(外)大野高志

小井沼國光氏(無任所教師)

れら二件の公募について はぜひご一報願いたい。こ 今期委員会の実務会が一教師が正教師試験に合格し 情況の報告がなされた。 また、補教師である在外

確認した。

(木下宣世報)

について協議し、候補者に

らの参加者については人選

正式の打診を行うことにな

った。さらに予定されてい

竹中正夫氏(無任所教師)

神山辞 東北教区

就(巡)高橋 力

岐にわたる申し送り事項を

割分担を決め、委員会外か の者については大まかな役

負と希望を述べた。

共にくぐってほしい」と抱 てやまない。台湾への扉を

最後に次期委員会への多

や手続きが進められている

となった。

のための手続きを取ること

たプログラム案に従って、 合(SEK)から送付され ス・プロテスタント教会連 ている。委員会では、スイ

訪台してくれることを願っ ずは多くの方々が楽しんで

卓江さん。

〇年隠退した。遺族は妻の ぐみ各教会を牧会し二〇〇

当委員会から参加する予定

るよう現行の教規を整えて

いく必要性が協議され、そ

り、そのための様々な準備 の業務を引き継ぐことにな 伴い、今後は当委員会がそ その他、CoCの解散に

担うことを確認した。

た場合、

按手礼が受領でき

(8)

9

10

スト教会に赴任した大野高

国間教会協議会に備える

く傘下に入るであろう六つ り、これに関連して、新し 予定であることの説明があ の委員会相互の「横のつな 次回教団総会に上程される 委員会を「世界宣教委員会」 開催された。まず常議員会 協約委員会が、二〇〇六年 に改組するための議案が、 会が所属する世界宣教協力 九月十三日、 からの報告として、当委員 第3総会期第三回スイス 教団会議室で れた。 月に、スイス国バーゼルで |望まれるという意見が出さ | が中心になった。協議会の ・ 日本三国間教会協議会」 開催される「スイス・韓国 協議事項では、今年十一

がり」を生むための工夫が に関する準備的な話し合い うすきみどり宣教師派遣 駐在あるいは国際結婚、

台湾基督長老教会、国際日語教会へ うすきみどり宣教師派遣式

式が、村山盛芳世界宣教協

| 量好八幡ぶどうの木教会牧 | 力委員会委員の司式、木村 | 師の説教で八月二〇日に八 | 幡ぶどうの木教会で執り行 なわれた。うすき氏は柳田

体とし、日本語を母語とし

駐在している日本文化を母 企業から派遣されて台北に 設された。現在は、日本の

ている日本の方が午前中に

剛行・柳田雅江宣教師の後

ている。日本の約五〇年間 台北郊外の天母礼拝に集っ

歳。栃木県に生まれる。一

教会

就(外)松本章宏

八月二四日、逝去。六一

ジャカルタ日本語キリスト

神戸聖愛 就(担)小栗 献 常(外)小栗 献

九九六年日本聖書神学校卒

ブリュッセル日本語

プロテスタント教会

就(外)岡田直丈

業後、二〇〇六年までサン

多くの人々が参加した宣教師派遣式 るように、派遣式には多く 老教会、国際日語教会に派 動した。この幅広さを物語 どうの木保育所と幅広く活 の木教会、同志社高校、 学部を卒業後、八幡ぶどう 遣される。木村氏は説教で 任として台北の台湾基督長 い」と語った。 すき氏を台湾にお送りした れた命のつながりの中でう 「教会の交わりの中で育ま うすき氏は同志社大学神 ぶ 日本人以外に、あえて日本 湾の方が午後に台北市内の 語礼拝に集う台湾人が大勢 城中礼拝に集っている。 湾文化を母体としている台 語を母語としているが、台 の植民地統治によって日本 深めることが出来たらと思 会での交わり、また、台湾 おられる。国籍を超えた教 基督長老教会との交流をも たれた茶話会で「在台する うすき氏は、派遣式後も

伊藤忠雄氏(隠退教師)

よきサマリヤ人

辞(外)小井沼眞樹子

辞(外)小井沼國光

樹子さん。

して務めた。遺族は妻の眞 パウロ福音教会在外教師と

サンパウロ福音教会

の参加者があった。 国際日語教会は 一九七三

8

一の時代を生きた方々の現

台湾の近代の歴史やそ

歳。東京都に生まれる。

訂正四六一一号三面、

消

巻祝福 就(主)榊原喜三郎

辞(担)榊原喜三郎

辞(担)榎本

千里聖愛辞(担)芝野雅亜規

息欄氏名、「井刈堅治氏」を

「井苅堅治氏」にお詫びし

八月二六日、逝去。七二

その後豊後高田、相模原、

一て訂正いたします。

業。六〇年西都教会に赴任。 九五四年日本聖書神学校卒

使命という、予言ともいえる幻を

ちが大学時代に得た青年伝道への いました。この新しい使命は私た

国々からの人、ま

ありとあらゆる 組んだ高速道路、 サンゼルスは入り

宣教師として私たちを招いて下さ ログラムを改善すべく長期契約の

ちとは楽しい想い出があります。 ました。SCFで出会った生徒た 教友愛会(SCF)で英語を教え 4語学校に通う傍ら学生キリスト 1999年に盛岡を去り東京の日 具現化するものでした。 私たちは

英語、韓国語、ア

ルメニア語、

2

3

4

5

6

(7)

8

のはスペイン語、

す。毎日耳にする

るにもかかわら 身アメリカ人であ た人で、私たち自

異国のようで

2001年に日本語学校を卒

て一年たった頃、教団が、青年プ

は別でした。善隣館で英語を教え と思っていましたが、神様の計画

神の全能の力の中に生きる

教

ォルニア州パサデナで書 私はこの手紙をカリフ 2

3

(4)

5

6

7

8

9

(10)

の生まれ故郷です。 謝に耐えません。私どもが日本伝 るようになりました。 私たちは外 り、短い期間で日本を心から愛す もとででした。当時、善隣館のデ 道の働きを始めたのは1988 ィレクターで、私ども家族を抱き 人ですが、

盛岡は私たちの日本で **道にかける気持ちを育てて下さ** ^さいました。 先生は私たちの伝 かかえんばかりに、温かく迎えて お別れの挨拶が出来ますこと、感 この紙面を借り、日本の皆様に 盛岡の善隣館、潮義男牧師の

の革新に取り掛かったときは無駄 たちが1999年に全国青年伝道 会との協賛によるものでした。私 な努力だという声が大半でした。 した。 このミッションは教育委員 ン2006に参加する栄誉を得ま この夏には、ユース・ミッショ ユース・ミッション20

私たちはずっと盛岡で住むもの

(PCUSAから教団への派遣宣教師) りです。 さいます」の御言葉の通 であり、 なった方は、真実で、必 06の開催はまさに奇跡 ずそのとおりにしてくだ 年活動の夜明けでした。 あなたがたをお招きに テサロニケ、5章4節、 教団の新しい青

ゼブリー•クリスチャン ゼブリー•ケイ 持つ予定です。口 この秋より成人教育の一環を受け リウッド長老教会で歓迎を受け、 号を取得、フラー神学校 いています。サンフラン でPh.D.のコースに入 る予定です。私たちはハ シスコ神学校で神学博士 伝えることを祈ります

も携わりました。多くの教会に招 業、教団事務局で働き始めました。 dan Newsletter の編集の仕事に 率しました。ケイは、 the Kyo-各地で行われる青年伝道会議に引 夏には毎年教団の青年代表を世界 かれ、説教や証しをする機会にも ます! 語など、 道をしているようなものです。 ンゼルスに住みながら世界中に伝 も多くいます。その意味ではロサ まったく教会に関心を示さない人 時たま日本語さえ耳にし 多くの教会がある一方、

リストに従うことは人間的な強さ 教えてくれました。 仰を育て、また非キリスト教社会 でどのようにして信仰を育むかを ます。教団での経験は私たちの信 日本での最も大きな学びは、キ 私たちは教団に深く感謝いたし

定されました。

けて下さいました。 誤った自尊心を悔やむように仕向 生活を通じて神は私たちを自らの むことを学びました。 深い祈りの 結果として祈りを通し神により頼 少しずつそぎ落とし、そしてその であり、神が我々の人間的強さを 音伝道の業は長年大変困難なもの ということです。日本における福 神の全能の力の中に生きることだ の中に生きるのではなく、 、むしろ

百万人もの日本人に、福音を宣べ 見することを心待ちにしている何 きな声で、イエス・キリストを発 り内的な政治的闘争を克服し、 霊の偉大なる力を発見することを 間的な力や自尊心を自制して、聖 なたかが聖霊に導かれることによ 教団のために祈ります。 教団のど 牧師、指導者、そして信徒が人

ご一家で

師/条件=教団正教師·赴 任地=ドイツ、ケルン・ボ ◇宣教師公募◇ 任後ケルン市在住・独語ま ン日本語教会/任務=宣教 たは英語力要他/任期―四

はお問い合わせ下さい。世 〇六年十二月十五日/他詳 年八ヶ月/応募締切=二〇 介宣教協力委員会(

(な〇三)
 ||-||||0||-04四四) 世界宣教協力委員会(第〇 細はお問い合わせ下さい 期=三年/応募締切=二〇 教師/幼稚園教諭免許/任 教諭/条件=教団信徒又は ぐみ幼稚園/任務=幼稚園 教会高雄日本語教会付属め 〇六年十二月十五日/他詳

信徒の交流の時

を

ければ、協力しても力は半減してしまうからです。 というのは永い願いでありました。知り合っていな そこで、教団総会の日程の中へ、そのための時間 全国の信徒が一堂に会し、交流の時を持ちたい

と場所を設定するようにお願いしたところ、総会進

備委員会が工夫してくださり、第五回常議員会で決

の皆さんのご理解をお願いする次第です。 にもなるので、その全文を掲げて、広く全国の信徒 設定を申し入れた主旨は、会の性格を決めること

行われているので、その交流の輪をつなぎ合わせな ければならない。 余年もたれていない。教区内での交流は比較的良く 『教団に属する全国の信徒の交流の機会は三〇有

> 婚に差し支えるのでは」と家族 ったが、「日本は仏教の国。結 洗礼を受けたいという希望も持 国後、友人の誘いで教会に通う。 雰囲気がとても好きだった。 帰 た。キリスト教の授業があり、 真っ盛りの南アフリカで過ごし

に言われ、先延ばしにしていた。

宣告される。

「自分の問題も大

が起きた。父が癌で余命半年と 挫折に構っていられない出来事 がらそう語る はいません」

けれども自分の

にこにこと笑いな 挫折を乗り越えて

婚約中だった二九歳の時、風

変。でも、父とは後半年しか会

えない」それ

からの半年は父の

ために過ごした。立て続く家族

の方から、開催を強く求められた。 と、残念であり、責任を果たしていない事にもなる。 規模の研修や、信徒大会が行われていたことを思う 先の宣教方策会議の席でも、津村正敏氏始め複数 以前には、教団総会の中に時間を設けたり、全国

> 生きるか死ぬかの状態の中で、 邪を拗らせ、腎不全になった。

「自分はどこに行くのか、こん

日)し八〇名が参加したが、この会の反省でも、 川上郁夫、高橋豊、金刺一雄、望月克仁、小林貞夫、 流の集い」を計画し、八名(樋田利明、朝岡瑞子、 国交流の必要性が強く求められた。 池田浩二)の呼びかけで実行(二〇〇四年一〇月 また、同じような主旨で、関東地域では「信徒な

> の中で、「礼拝を守れてとても嬉 気と婚約破棄という大きな挫折

った。神様はすごい、と感謝し 今は良い時ね』と言うようにな

折が影とならない朗らかさが、

その信仰生活を支えている。

その時が一番平安だという。挫

毎週、母と二人で教会へ行く。

ています」父を教会墓地に分骨

しかった」と語る。退院後、

先は聖路加病院。鐘の音に支え のか」との問いを持った。入院 な自分でも神様は召して下さる

毎日礼拝に通った。

病

変わって来たんですよ。『とても

「でも母も受洗後、言うことが

母の口癖だったという。

も良いことがない」がその頃の の病気で母も体調を崩した。「何

力の芽となると信じるからである。』

う機会となることを目指したい。そのことは宣教協

最初になる会では、多くを望まず、互いに知り合

(小林貞夫)

があった。 盟理事長として出席し祝辞を述べ 立50周年の記念式典に日本宗教連 させていただいた。千名もの参加 去る六月一日全国教誨師連盟創

る。改めて敬意を表するとともに リスト者が教誨師として奉仕し、 本社会事業同盟の総会、研修会が 教団からも多数が従事しておられ この働きへの協力を誓いたい。 六月十五日~十六日、浜松で日 八〇〇名のうち二五〇名のキ

任地=台湾、台湾基督長老

◇宣教師公募◇ -||||0||-0五四四

から集まって研修していた。 開催された。 八〇を超える施設の代表が全国 私が

認する」との主題によって講演さ のはこちらの方 議長として「聖書に基本理念を確 同席しておられた阿部志郎氏が であった。

するのは62回にして初めてのこと 教団議長が社 働きの 事同の総会に参加 多様性に

仕と働きに参与 って下さった。 多岐にわたる することにより教 社会福祉事業の奉

三ツ谷友起子さん

小学生時代をアパルトヘイ-

受洗した。 する事も許された。分骨できる

道生活を始め

「実は、まだ

もする。クリスチャンなのに、 も す」でも、そういう自分でも、 受けている間、イライラしたり る。仕事も退職した。「透析を 挫折の時にもすがれる所がある して生きていけるんです」現在 |挫折を乗り越えるのではな 一日おきの透析に通ってい 挫折を抱えて、挫折を友と 自分が嫌になる時もありま

様の導きを感じた。 状態で埋葬していたことに、神

下谷教会員。1959 年生まれ。

挫折を友として

せていただいたが、学ばせられた 内内伝道と言われて久しいがキリ 事業との連携を強めていくことが 団も教会も生命を得るにちがいな スト教主義学校、キリスト教社会 い。このことを痛感させられる。

教会の使命と存在感を増していく

ことになるとは時代の問題性から

感じ取るところであろう。

りを捧げ、関心を払っていきたい。 世の光として教会が用いられてい くために欠くべからざる関係たる その働きは現代社会にて地の塩、 を思い、こうした奉仕のために祈 教誨師といい社会事業といい、 (教団総会議長 北

ではないか」と

議場にて意義を語

9

(10)